

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (2004年1月28日～ 2004年4月8日分)

日本通信、「通信電池」をコンセプトにした「b-mobile ONE」を発売

日本通信は、ノートPCでどこでもインターネットを実現するb-mobileの新商品として、「b-mobile ONE」(ビーモバイルワン)2商品を2004年4月20日から発売すると発表した。

b-mobile ONEは、本多エレクトロニクス製のCF型PHSデータカードに、無線LANスポットとPHSデータ通信料、インターネット接続料、手軽にインターネット接続を行なえるソフト「b-Access ONE」などをワンパッケージにしたもの。

通信利用期間6ヶ月タイプ「b-mobile ONE6ヶ月パッケージ(オープン価格)」と1年タイプ「b-mobile ONE1年パッケージ(オープン価格)」があり、いずれも期間中は定額・使い放題。

利用期間中は無線LANスポットが使い放題となるが、無線LANを利用する場合は、無線LAN機能内蔵パソコンが別途無線LANカードを用意する必要がある。

専用ソフト「b-Access ONE」では、無線LANとPHSの2つの異なるネットワークを一括してコントロール可能で、同ソフトを起動することで利用した場所での電波状況の確認、インターネット接続できる。

さらに、「ユーザー定義機能」を設定することで、社内無線LANや家庭の無線LANにもワンクリックで接続することも可能となっている。

なお、パッケージには通信時の体感速度を向上させるWebアクセラレーターやPCカードアダプタなども付属する。今後、更新ライセンスなども発売する予定。

(4/8)

アイワ、USBオーディオ製品一部仕様変更および発売日変更

ソニーは、アイワブランドのポータブルHDDオーディオプレーヤー「HZ-WS2000」と「HZ-DS2000」、USBメモリ「pavit(パビ)」に対応したオーディオプレーヤー「AZ-BS32」と「AZ-RS256」の発売延期を発表した。

HZ-WS2000/DS2000の新しい発売日は5月21日。併せてHDD容量が、2GBから1.5GBに変更される。

また、pavitに対応したFMラジオ付きのUSBオーディオプレーヤー「AZ-BS32」は4月から6月1日に、スポーツ時の利用を想定したプレーヤー「AZ-RS256」も3月から6月1日にそれぞれ延期される。

その他の仕様や価格面での変更はないとしている。

(4/8)

クリエイティブ、1インチHDDプレーヤー「MuVo2」に新モデル

クリエイティブメディアは、1インチHDD搭載のオーディオプレーヤー「NOMAD MuVo2(ノマド ミュージック スクウェア)」に簡単操作のSリモコンをバンドルし、「ブラックモデル」もラインナップに追加した新モデルを4月中旬より順次発売すると発表した。

新モデルは、Creative NOMAD MuVo2 4GB Sリモコン付きブラック 『型番：CNMVS4GB-SR』、Creative NOMAD MuVo2 4GB Sリモコン付きホワイト 『型番：CNMVS4G-SR』、およびCreative NOMAD MuVo2 1.5GB Sリモコン付きホワイト 『型番：CNMVS1.5G-SR』の3機種。

Creative NOMAD MuVo2は最新の1インチ・1.5GB/4GBのハードディスクを採用したポータブルプレーヤー。

音質ではポータブルプレーヤーでは最高クラスの98dBのSN比を実現。インターフェースにはUSB 2.0を採用し、USB マストレージクラス対応と併せて、超小型のハードディスクドライブとしても利用できる。

バンドルされるSリモコンを使えば、プレーヤーの電源ON/OFFや基本的な操作を全てリモコン側で行えるため、プレーヤーの操作性が大幅に向上するとしている。

(4/7)

リアルネットワークス、「RealPlayer 10」日本語版を提供開始

リアルネットワークスは、メディアプレーヤー「RealPlayer 10」日本語版をリリースした。

RealPlayer 10は、Real、Windows Media、QuickTime、MP3などの主要フォーマットをサポートするメディアプレーヤー。

RealOne Playerの後継に当たり、CDへの書き込みは30%高速になっているとしている。その他、無償版のRealPlayer 10が提供する主な機能は次の通り。

- ・主なフォーマット形式に対応。すべての大手オンライン・ミュージック・ストアからダウンロードした楽曲を再生可能。

- ・ストリームのスムーズな早送り、巻き戻しが可能。ライブ・ストリームの一時停止もできる。

- ・iPod、Creative Labs、Nokia、SonicBlue/Rio、Sony、Panasonic、PalmOneなど50以上のポータブル音楽プレーヤーやPDAの機器で利用できる。

今回、RealPlayer 10は英語版、ドイツ語版、日本語版が同時にリリースとなっている。

(4/7)

米Time Warner、DRM技術の米ContentGuardに出資

米Time Warnerがデジタル著作権管理(DRM)技術の米ContentGuardに出資したと、同社に出資している米Microsoftが発表した。

ContentGuardは、DRMや分散認証に関

する技術開発を手がけており、特許技術をライセンス提供している。同社が開発した技術には、デジタル・コンテンツの権限とポリシーを記述する言語、XrML(eXtensible rights Markup Language) などがある。

同社の特許技術は、もともと Xerox の Palo Alto Research Center (PARC) が開発したものの。

今回の発表では、Microsoft も投資を拡大し、Time Warner、ContentGuard とともに、Xerox が ContentGuard に対して保持している実質的な所有権を買い取ったとしている。

Xerox は今後も ContentGuard の少数の株式を維持する。

(4/6)

SanDisk と東芝、4Gbit NAND 型フラッシュメモリを製品化

米 SanDisk と東芝は、業界最大容量となる 4Gbit NAND 型フラッシュメモリ「TC58NVG2D4BFT00」および同製品を積層した 8Gbit NAND 型フラッシュメモリ「TH58NVG3D4BFT00」を製品化したと発表した。

新製品は 1 つのメモリセルに 2bit を記録可能な多値技術を採用したフラッシュメモリ。90nm プロセスの 2Gbit 製品に組み込むことで、0.13 μm プロセスの 1Gbit 製品と同じチップサイズで 4Gbit の容量を実現した。

8Gbit 製品は、これを 2 層重ねたもの。コンパクトフラッシュのサイズには 8Gbit チップを 4 つまで搭載可能で、4GB の容量が可能となる。

新製品は、ページサイズの拡張やメモリセル制御システムの最適化により、当社従来の多値製品に比べ約 8 倍の書き込み速度高速度を実現している。

4Gbit NAND 型フラッシュメモリ「TC58NVG2D4BFT00」は 2004 年 4 月からサンプル出荷開始、サンプル価格は 12,000 円。8Gbit NAND 型フラッシュメモリ「TH58NVG3D4BFT00」は 2004 年 5 月サンプル出荷開始、サンプル価格は 24,000 円と

なっている。

量産時期は 2004 年第 3 四半期を予定しており、量産規模は月産 30 万個となる。

また、4Gbit NAND 型フラッシュメモリを 4 個積層させた 16Gbit 品についても、2004 年第 3 四半期にサンプル出荷を開始する予定としている。

(4/6)

日本テレコム、公衆無線 LAN サービス「モバイルポイント」を開始

日本テレコムは、2004 年 4 月 1 日より、インターネットサービスプロバイダ (ISP)・SI ベンダー向けのホールセール事業として公衆無線 LAN サービス「モバイルポイント」の提供を開始すると発表した。

モバイルポイントは、2001 年 9 月から日本テレコムと JR 東日本で行なってきた「無線による、駅でのインターネット接続実験」の結果を踏まえて、日本テレコムが正式サービスとして提供するもの。

2004 年 4 月 1 日現在で利用可能となるエリアは、JR 各社の駅構内が 33 駅の 56 カ所 (JR 東日本 29 駅、JR 北海道 2 駅、JR 九州 2 駅)、ホテルのロビーなど駅以外のスポットが 48 エリア 56 カ所。

日本テレコムから ISP に対しての料金は初期費用 20 万円、月額 30 万円 (1,200ID/月)、ID 超過分は 1ID 当たり日額課金で 250 円。2004 年 9 月末日までは初期費用と超過課金は無料となる。

利用可能な ISP は、2004 年 4 月 1 日の段階では ODN と JENS SpinNet の 2 社。料金は ODN が 5 月末まで、JENS SpinNet が 9 月末まで無料としており、有料化後の料金等は未定としている。

また、4 月中を目処に、DION、DTI、ぶらら、b-mobile、無線 LAN 倶楽部、NET BUREAU の各 ISP も対応する予定。

さらに、無線 LAN 接続サービスエリアから社内網へのリモートアクセスや、オフィス

内でのモビリティを確保した無線 LAN 環境の構築などの法人ニーズへ対応するため、無線 LAN インフラを拡張的に提供するとともに、より利用価値の高いサービス提供を目指すとしている。

(4/1)

総務省、2 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2004 年 2 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 254.6 万人、DSL が 10,904,236 人、FTTH が 1,042,776 人と、FTTH 利用者が初めて 100 万人の大台を越えた。

一方、ダイヤルアップ型の加入者数は約 1,899.5 万人。

(3/31)

レーベルゲート、東芝 EMI も加わり新ブランド「Mora」を設立

レーベルゲートは、2004 年 4 月 1 日よりサービスブランドとして新たに「Mora (モラ)」を立ち上げ、アドレスの新設およびウェブサイトのリニューアルを実施すると発表した。

また、この新ブランドの立ち上げに伴い、同日付で東芝 EMI ならびにプラティア・エンタテインメントが「Mora」より音楽配信をスタートする。

音声圧縮方式はビットレート 132kbps の ATRAC3、著作権管理方式は OpenMG を採用する。

なお、今後導入予定の音楽配信技術として、音声圧縮技術で AAC (Advanced Audio Codec) と WMA (Windows Media Audio)、権利保護技術 (DRM) として WMT (Windows Media Technologies) を初めとする各音声圧縮技術に対応する方式、記録媒体として SD カードおよび miniSD カード、オペレーティング・システム (OS) として Mac OS X を挙

げている。

さらに、今後参入予定のレコード会社としてワーナーミュージック・ジャパンが2004年夏より配信開始予定としている。

(3/31)

米 Microsoft、Windows CE 5.0 の版をリリース

米 Microsoft は、PDA やセットトップボックスなどに向けた組み込み用 OS「Windows CE」の次期バージョンの版「Technology Preview Kit for Windows CE 5.0」をリリースした。

Windows CE 5.0 には、ハードウェア・サポートの拡張やセキュリティの向上を図るほか、高性能マルチメディア機能などを追加されている。

ハードウェア・サポートについては、ARM、MIPS、SuperH、x86 などの主要なチップに最適化した 50 種類以上のドライバを利用可能にする。

セキュリティ面では、高レベルのセキュリティを自動設定する機能を備え、開発者が独自の設計に合わせて設定を変更することも可能。自動エラー報告機能「Windows Error Reporting」や自動テスト・ツール「Windows CE Test Kit」なども含まれる。

また、PC ゲーム用グラフィックスライブラリ DirectX のモバイル対応版「Direct3D Mobile」も組み込まれ、素早いコンテンツ再生を可能にする「Fast Start」機能も備える。

米 Intel、米 Intermec Technologies、米 ViewSonic、韓国 Humax、韓国 LG Electronics、韓国 Samsung Electronics など、すでに 60 社以上の OEM や半導体メーカーが Windows CE 5.0 対応に取り組んでいるとしている。

技術プレビューキットは 2004 年 4 月 1 日より、同社 Windows Embedded サイトから入手可能となる。なお、Windows CE 5.0 の最終版は 2004 年夏にリリースする予定としている。

(3/30)

Apple、iPod mini の米国外での発売を 7 月に延期

Apple は、iPod mini (アイポッドミニ) の米国外における発売時期を 2004 年 7 月に延期すると発表した。

iPod mini は、4GB HDD を搭載した HDD オーディオプレーヤーで、米国では 249 ドルで 2 月 20 日より発売されている。日本など米国以外の国では 4 月の発売を予告していた。

今回の発売延期の理由については、「米国内での売れ行きが予想を大幅に上回り、6 月までの生産計画をはるかに超えたため」としており、「7~9 月期には全世界の需要に対応できるよう増産強化を実施する」としている。

(3/26)

無線 LAN 倶楽部がネオモバイルを事業統合

エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME) は、2003 年 7 月より提供している「公衆無線 LAN を利用した高速インターネット実験」の有料トライアルを、2004 年 3 月 31 日 (水) をもって終了、同社が運営している ISP 向け認証ローミングや提供エリアのプロモーション等を行うサービスパッケージ「ネオモバイル」について、同年 4 月 1 日より NTT プロバンドプラットフォーム (NTT-BP) の「無線 LAN 倶楽部」と事業統合すると発表した。

東海道新幹線「のぞみ」停車駅や羽田空港ターミナルビル等で実施していた「公衆無線 LAN を利用した高速インターネット実験」については、ISP 会員のユーザーによる利用を通じて、ニーズの把握とサービスに関する一定の受容性について確認することができたとして、2004 年 3 月 31 日 (水) 12:00 (正午) をもって有料トライアルを終了する。

NTT-ME が実施する「ネオモバイル」については、無線 LAN 接続サービスを提供する他の通信事業者との提携により、さらなる利便性向上のため、2004 年 4 月 1 日 (木) に NTT-BP との事業統合を実施し、ユーザーに対して一体的な運営をはかっている。

具体的には 2004 年 4 月 1 日からはネオモバイルのサービス提供エリアが無線 LAN 倶楽部と統合され、ユーザーは無線 LAN 倶楽部の料金のみで旧ネオモバイルエリアが利用できる。

また、2004 年 4 月 1 日からはプロバイダー向けに無線 LAN 倶楽部のサービスが提供される。ただし 4 月 1 日から利用できるのは旧ネオモバイルエリアのみで、旧無線 LAN 倶楽部エリアは 5 月下旬から対応する。

なお、コンテンツシンクは現在のところプロバイダー経由では利用できず、NTT-BP では対応を検討中としている。4 月 1 日から対応するプロバイダーは @nifty、b モバイル、BizPortal、DION、WAKWAK で、DTI、KWINS が今後対応予定。利用料金はプロバイダーごと異なる予定。

(3/25)

三洋電機、Hi-MD 用レーザードライバ IC を開発

三洋電機は、ポータブル Hi-MD 機器に最適な低電圧駆動を実現した光ピックアップ用レーザードライバ IC LA9450CL を開発したと発表した。

LA9450CL は、MD のデータ記録時に必要なバルスドライバ IC と、データ読み出し時の DC モード用低飽和 PNP トランジスタ (Vcesat=40mV/Ic=100mA、 $\beta=20$) の 2 チップを独自の小型パッケージ ECSP に封入した。

電源電圧はポータブル Hi-MD 用途に最適な低電圧 (Vcc1=2.0V min、Vcc2=2.6V min) 仕様とし、DC モードと PULSE モードの 2 電源に対応。さらに回路の低消費電流化設計により、低消費電流 (Icc1=500 μ A) を実現している。

小型パッケージ (外形サイズ: 3mm x 2mm、高さ 0.8mm) への搭載により、光ピックアップへの内蔵に最適としている。

2004 年 4 月よりサンプル出荷開始予定、サンプル価格は 240 円。2004 年 第 3 四半期に月産 50 万個を計画している。

(3/25)

ドコモ、月額 3,900 円の定額制サービスを発表

NTT ドコモは、FOMA の i モードサービスにおけるパケット通信料が月額 3,900 円で使い放題となるパケット通信料定額サービス「バケ・ホーダイ」を 2004 年 6 月 1 日より開始すると発表した。

「バケ・ホーダイ」は、FOMA 端末で利用する場合の i モードメールを含む i モードサービスが、月額 3,900 円で使い放題となるパケット通信料定額サービス。FOMA 料金プランの「FOMA プラン 67」「FOMA プラン 100」「FOMA プラン 150」を利用するユーザーが対象となる。

ファミリー割引、いちねん割引、2 ヶ月くりこしなどの割引サービスは引き続き利用できる。なお、パソコンや PDA を利用したデータ通信など、i モード以外のパケット通信は対象外となる。

i モードサイトの利用料や月額 150 円の i モード契約料は別途必要。同サービスへの申込みは 5 月 20 日から。

なお、ネットワークの混雑状況によっては、従来のパケット通信サービスに比べて、通信速度が遅くなるケースもあるとしている。

(3/24)

SMC、音楽配信サービスを利用する販促ツールを発表

ソニー・ミュージックコミュニケーションズ(SMC)は、ソニーが開発した Postscripted ID (以下 PID) の技術を応用した、音楽のダウンロード購入権を収録して配布する CD-ROM 販促ツール「Privinet (プリヴィネット)」を開発したと発表した。

楽曲は、ソニー・ミュージック・エンタテインメント (SME) による配信サイト「bitmusic」が提供する 25,000 曲 (2004 年 2 月現在) 以上から指定できる。

PID は、大量生産された CD-ROM ディスク 1 枚ごとに個別情報を記録することができる技術。CD-ROM 規格に準拠しており、市販されているほとんどの CD-ROM 対応ドライ

ブでの読み出しが可能となっている。対応 OS は Windows。Macintosh に関しては順次対応予定。

このツールを利用するプロモーション側は予算に応じた総楽曲数などを指定して、自らの顧客に音楽のダウンロード購入権付き CD-ROM として配布することができる。ダウンロード時の認証には CD-ROM に記録された PID が用いられる。

SMC では、CD-ROM ディスクにクライアントが伝えたい大容量映像コンテンツを収録することはもとより、アンケート収集、CD-ROM ナビゲーションデータの収集によるデータベース構築、会員登録によるメール配信など、One to One マーケティングをより具体的に実践するマーケティングツールとして活用できるとしている。

(3/24)

米 Wal-Mart、1 曲 88 セントの音楽配信サービスを開始

米 Wal-Mart Stores は、音楽配信サービス「Music Downloads (http://www.walmart.com)」の提供を正式に開始した。

圧縮方式は Windows Media Audio を採用。PC にダウンロードしたのち、CD への書き込みやポータブルプレーヤーへの転送が許可されている。

また、「ダウンロードマネージャー」が用意され、アルバム単位の購入や複数の楽曲の一括購入も可能になっている。

楽曲の販売価格は 88 セントから。購入は米国内に限定されている。

サービス全体は、2003 年 1 月に Liquid Audio の資産を買収した Anderson Merchandisers との提携に基づいて開発されており、多くの楽曲は Liquid Audio の資産を受け継いだ Liquid Digital Media より提供されている。

サービスの開始を受けて全米の Wal-Mart 店舗と Walmart.com では、音楽ダウンロード販売で利用できるギフトカードの販売を開

始している。

(3/24)

東芝、LAN 接続対応の HDD プレーヤー「gigabeat G21」発表

東芝は、LAN 接続にも対応した 1.8 型 20GB HDD 内蔵ポータブルオーディオプレーヤー「gigabeat G21」(MEG201) を 2004 年 4 月 9 日に発売すると発表した。価格はオープン。

gigabeat G21 は、2003 年 10 月に発売された「gigabeat G20 (MEG200J)」の機能拡張モデル。新たに USB ホスト機能を備え、付属のクレードルに USB ポートを 2 ポート装備した。

USB ポートに有線 LAN または、IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN USB アダプタを接続することで、ネットワーク経由でのデータ転送が可能となっている。

なお、USB ポートは USB2.0 に対応しているが、USB ホスト機能は USB1.1 対応のためネットワーク経由でのデータ転送速度は制限されるとしている。

付属の音楽転送ソフト「TOSHIBA Audio Application Ver.3.0」もバージョンアップし、ソフトウェア上から gigabeat G21 をネットワークドライブとして割り当てられるようになったほか、PC 上の任意のフォルダとの同期機能、ライブラリの自動生成を ON/OFF できる機能が追加された。

その他の機能としては、液晶表示の「ネガポジ反転機能」が追加され、イコライザ設定数が 4 種類から 28 種類に増えている。

また、従来と同じワイヤードリモコンに加え、ストラップ内に操作ボタンが埋め込まれたネックストラップ型リモコンも付属する。

基本仕様は「gigabeat G20 (MEG200J)」と同じ。電源はリチウムイオン充電電池を内蔵し、連続再生時間は約 11 時間。本体サイズは 76.5 x 89.5 x 12.7mm (幅 x 奥行 x 高) で、重さは 138g。

カラーはコスモブラックを基本色とし、

web 販売限定色としてミストグレーメタリックをラインアップする。また、web 販売ではバッファロー製の無線 LAN アダプタ (WLI-USB-KB11) とのセットモデルも販売する。

(3/18)

松下、1GB SD メモリーカードを 4 月発売

松下電器産業は、1GB 容量の SD メモリーカード「RP-SDH01GJ1A」を 2004 年 4 月 20 日に発売すると発表した。価格はオープン。

今回の 1GB SD メモリーカードは、独自の高密度実装技術を活用して、1Gbit のフラッシュメモリを 8 枚実装することにより、1GB の大容量を実現。

データ転送速度は 10MB/s の高速性能を継承し、SDMI 規格の著作権保護機能を持つ。

なお、ラベルは GB 世代に入ったことを期に一新されゴールドを中心とした配色となっている。

また、発表に併せて SD メモリーカードサイトがリニューアルされている。

(3/18)

iTunes Music Store、ダウンロード販売数が 5,000 万曲を突破

米 Apple は、「iTunes Music Store」でダウンロード販売された楽曲数が 5,000 万曲を超えたと発表した。この数には、ペプシの iTunes プロモーションによるダウンロード数は含まれていない。

iTunes Music Store では現在、1 週間に 250 万曲をダウンロード販売しており、年換算では 1 億 3,000 万曲に相当することになる。

同サービスが Mac ユーザーにしか対応していなかった 2003 年 9 月の平均ダウンロード数は 50 万曲だった。同 10 月に Windows 版をリリースし、12 月の平均ダウンロード数は 3 倍の 150 万曲まで増加していた。

ペプシとの iTunes キャンペーンでは、ペプシの購入者に対して抽選で 1 億曲が無償で提供される。

Apple では、同キャンペーンによる配信も含め、2004 年 4 月までに 1 億曲の配信達成が目標とされている。

(3/16)

モバイル放送、専用衛星の打ち上げに成功

モバイル放送は、日本時間 3 月 13 日午後 2 時 41 分、米国フロリダ州ケープカナベラル空軍基地において 7 月から放送する「モバイル放送」専用の通信衛星打ち上げられ、同 15 時 09 分にロケットからの切り離しに成功したと発表した。

モバイル放送用の専用衛星は東経 144 度の軌道位置で運用するもので、米国フロリダ州ケープカナベラル空軍基地から Atlas IIIA ロケットで打上げられ、ロケットからの切り離しに成功。予定通り、南米プレトリア局、続いてオーストラリア シドニー局にて、衛星が予定通りの軌道を飛行中であることを確認。

続いて同 17 時 40 分頃には北翼の太陽電池パドルが、同 18 時 25 分頃には南翼の太陽電池パドルが、それぞれ予定より早く展開完了した。

今後、高度約 3 万 6 千キロの静止軌道に投入し、12m のアンテナの展開など必要な調整を行った上で、IOT (軌道上試験) を経て、2004 年 4 月中旬に衛星メーカー SS/L 社から正式にこの衛星が引き渡される予定。

衛星引渡し後は、サービス開始に向けて試験放送などの準備作業を行い、2004 年 7 月から日本全国で屋外や移動中に携帯端末等で楽しめる多チャンネル映像・音声・データ放送サービス “モバイル放送” を提供するとしている。

(3/13)

JR 東日本の公衆無線 LAN 実験、3 月 17 日終了

東日本旅客鉄道 (JR 東日本) と日本テレコ

ムは、首都圏主要駅及び新幹線主要駅等において実施していた「無線による、駅でのインターネット接続実験」を、2004 年 3 月 17 日 (水) 24:00 をもって終了すると発表した。

「無線による、駅でのインターネット接続実験」は、東京駅で 2001 年 9 月から 12 月まで実験サービスを開始。一時休止ののち、2002 年 2 月から 11 月 19 日まで 2 度目の実験を再開した。

現在は第 3 回目の実験で、他の公衆無線 LAN サービスとのローミングや対応プロバイダーの拡大を実施。当初は 12 月 19 日に終了予定だったが、数度の期間延長を繰り返していた。

実験の概況としては、エリア数が 31 駅 57 箇所、モニター登録者数は約 37,000 人、協力プロバイダー数は 14 社に達していた。

なお、日本テレコムでは商用サービスを 4 月から開始する予定としている。

(3/11)

米 Napster、IBM と共にメディア配信システム「Super Peer」を発表

米 Napster は、IBM と提携し、帯域幅を節約するメディア配信システム「Super Peer」を大学、ISP、大企業向けに提供すると発表した。

Super Peer は、Linux が動作する IBM の「eServer BladeCenter」に対応したシステムアプリケーション。アクティブ・キャッシュ管理機能によって、コンテンツをローカル・サーバーのキャッシュ・システムに格納できるため、ダウンロードに要する帯域幅を節約し、同時に動作している他のアプリケーションのサービス品質を向上できる。

帯域幅の利用を管理しない従来の P2P 技術とは異なり、音楽をオンデマンドで配信しながら、ミッションクリティカルなアプリケーションのためにネットワークの帯域幅を確保できるのが特徴としている。

これにより、音楽のダウンロード・サービスを利用する学生が多い大学では、帯域幅

運コストを大きく削減することができる。

IBMは、eServer BladeCenterへのSuper Peer移植を支援するほか、インストール、サポート、システム管理サービスなどもオプションで提供するとしている。

(3/11)

クリエイティブ、USBメモリ型プレーヤーのUSB 2.0対応版を発表

クリエイティブメディアは、USB2.0に対応したUSBフラッシュメモリ型ポータブルデジタルオーディオプレーヤー「Creative NOMAD MuVo TX 256MB」を3月中旬、同128MBモデルを2004年4月上旬より発売すると発表した。

Creative NOMADR MuVo TXはバッテリーパック(256MB:ブラック、128MB:シルバー)とホワイトのUSBフラッシュメモリーの2ピース構成となる。

USBフラッシュメモリ単体では、Windowsのストレージクラスに対応したUSBフラッシュメモリとして利用することができ、バッテリーパックに取り付けられれば高音質のMP3/WMAプレーヤーとして使用することができる。また、マイクロフォンも内蔵し、手軽にボイス録音を行うことができる。

なお、著作権保護機能(DRM)付きのWMAファイルの再生にも対応し、オンライン販売等で購入したWMAファイルもMuVo TXに転送して聴くことができる。

連続再生時間は単4アルカリ電池1本で最大14時間(128kbpsのMP3ファイルの場合)。バックライト付き液晶ディスプレイを搭載し、ファイル名、ID3タグの日本語表示が可能となっている。

インターフェイスがUSB 1.1からUSB 2.0に変更されたことで、転送速度が高速になっている。

なお、価格はいずれもオープン。

(3/10)

有線ブロード、契約数が22万件を超える

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業(FTTHブロードバンドインターネットサービス)について、2004年2月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事が確定している契約者数が220,395件、回線が開通している取り付け数が135,418件となった。

前月2004年1月末時点のものに比べると、契約者数で約11,000件、取り付け数で約9,000件となる増加となっている。

なお、集合住宅における1棟あたりの平均加入戸数は4.34、集合住宅取付棟数は29,250となっている。

(3/10)

2月末でDSL加入者数は1,090万

総務省から2004年2月末時点のDSL加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は10,904,236で、これは前月末の2.8%増。増加率は前月から0.5%のマイナス。

内訳を見るとNTT東西のフレッツADSLでの加入者が3,963,906。他事業者経由のDSL加入者が残りの6,940,330。NTT東西のフレッツADSLのシェアは36.4%と前月から0.1%のマイナス。

(3/10)

アルプス電気、高記録密度GMR薄膜ヘッドを開発

アルプス電気は、ハードディスクドライブ(HDD)用ヘッドの新製品として120Gb/inch²を実現したGMR(Giant Magneto Resistive(巨大磁気抵抗))薄膜ヘッド「HRGHLシリーズ」を開発したと発表した。

新製品では、記録ヘッド部を従来の長手記録方式用のリング・ヘッドから垂直記録方式の単磁極ヘッドに変更。従来品90Gb/inch²GMR薄膜ヘッドの素子部における加工方式の検討と固有のプロセス技術によ

り、さらに性能アップを図り120Gb/inch²を実現している。

120Gb/inch²の場合、3.5インチHDD1枚でデータ記憶容量160GBとなる。

また、高容量化への対応に加え、ヘッド自体の小形化に対しても開発を進めており、メディアとスライダとの距離をナノ精度で一定範囲に保つABS(Air Bearing Surface)技術を深耕するなど、従来のスライダ容積から約70%減となる小形化を実現したフェムト(Femto:単位系で10⁻¹⁵を表す)スライダを開発中としている。

これにより、2.5インチ、1.8インチ、1.0インチ以下のHDDにも対応するとしている。

2004年末よりサンプル出荷、2005年初頭より量産出荷を開始する予定。

(3/9)

オンキヨー、波形データを元に楽曲情報を取得するオーディオソフトウェアを発表

オンキヨーは、デジオンと共同開発した統合デジタルオーディオソフトウェアCarryOn Musicに、米Gracenoteの新技术「MusicID」を搭載した新バージョン、「CarryOn Music ver.4.00」のダウンロード販売を2004年3月下旬に開始すると発表した。

これまで、楽曲情報検索サービスのGracenote CDDDBを使用するにはCDのTOC(Table Of Contents)情報が必要のため、レコードやカセットテープなどのアナログ音源をパソコンに録音した場合、楽曲タイトルやアーティスト名などは手入力をする必要があった。

今回、採用された次世代デジタル音楽管理サービスの「Gracenote MusicID」では、音声データの波形情報そのものを元にCDDDBから楽曲情報を取得することが可能となっており、CDリッピングと同等の手順で楽曲情報を簡単に取得することができ、アナログ音源からの録音でも面倒な手入力が不要となっている。

「CarryOn Music ver.4.00」はこの画期的な技術に対応した世界初のアプリケーションソフトウェアとなるとしている。予定希望小売価格は2,000円(税別)。オンキョーサイバークロップ e-onkyo でのダウンロード販売となる。

なお、「CarryOn Music ver.4.00」は「CarryOn Music ver.3.50」からのバージョンアップとなるため、COM-350RP、COM-350 購入者、および USB MULTIMEDIA AV RECEIVER MA-700U(S)のバンドルソフトウェア CarryOn Master ver.3.70のユーザーしか購入できない。

(3/4)

DION、ADSLの契約数100万突破

KDDIは、同社が提供するDIONにおいて、DION ADSLのご契約者数が、2004年2月末日をもって100万契約を突破したと発表した。

DION ADSLは、2001年1月にサービス提供を開始。40Mbps対応の高速コース、低価格の1Mbpsコース、IP電話とのセットコースなど、多種多様なコースを提供してきた。

また、2003年11月よりブロードバンドコンテンツ「セサミBB」を開始している。

(3/3)

KDDIなど、地上デジタルラジオの実証実験を公開

KDDI、エフエム東京(TOKYO FM)及びパイテックは、2003年10月より実用化試験放送が開始された地上デジタルラジオの受信機(試作機)を開発、この受信機を用いた放送・通信の連携サービスの実証実験を、2004年3月4日から3月6日まで、東京タワー2階の特設会場で一般公開すると発表した。

受信機は、モバイル通信機能付きPDAと1/3セグメント対応地上デジタルラジオ受信ユニットで構成され、パイテックが主に地上デジタルラジオ受信ユニットの開発を、

KDDIが主にPDAに搭載するデジタルラジオプレイヤー(デジタルラジオ受信アプリケーション)の開発を担当している。

受信ユニットは、フロントエンド部(アンテナを含む)・メイン部、バッテリー部に分かれて構成され、フロントエンド部で受信した放送波をメイン部で受け、英国のAlphamosaic社製「Video Core」をメインDSPとして使用し、音声・簡易動画・データに分割(デマルチプレックス)し、デコード処理などをソフトウェア処理で柔軟に対応している。

音声(MPEG2-AAC)は受信機側でデコードして再生、簡易動画(MPEG4)・データ放送についてはUSB1.1を介してデータをPDA側へ転送している。

特徴として、パイテックが開発したデマルチプレックス機能を「Video Core」上にポーティングすることで、複数の処理を1チップで実現したことが挙げられている。

デジタルラジオプレイヤーは、データ放送(BML)・簡易動画・EPG(電子番組表)等の放送コンテンツを表示し、放送コンテンツからインターネットへの接続機能などを搭載している。

今回の実験では、開発した受信機を用いて、地上デジタルラジオ3セグメント放送のサービスで、ダウンロード、ラジオショッピング、電子番組表配信、アンケート応募など様々なコンテンツを幅広い年齢層のモニターに体験してもらうことを目的としている。

この実証実験は、TOKYO FM、ニッポン放送及びジャパンエフエムネットワークが運営するデジタルラジオ東京98ch "Digital Radio 98 The Voice" が実際にオンエアしている番組 "This is the Voice 98" を使って行われる。

(3/3)

米SanDisk、世界最小のメモリーカードを発表

米SanDiskは、着脱可能なフラッシュメモリとしては世界最小の製品「SanDisk T-Flash」を発表した。

「T-Flash」は、同社の多値技術(MLC)

によるNAND型フラッシュメモリ。当初のラインナップは32MB、64MB、128MBの3種類。

大きさは11×15×1mm(幅×縦×厚)で、miniSDカードと比較して大きさが約半分となっている。

すでにOEM向けの出荷は開始しており、価格は\$14(32MB)から\$39(128MB)。アダプタを介してSDカードとの互換性も保持する。

同製品に対応した最初の携帯端末としては、米モトローラより3G対応の携帯電話「Motorola E1000」「Motorola A1000」の2機種が2004年下半期に出荷されるとしている。

(2/27)

総務省、1月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2004年1月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATVインターネットが251万人、DSLが10,612,671人、FTTHが960,926人。

一方、ダイヤルアップ型の加入者数は約1,903.7万人。

(2/27)

NTT-BP、26GHz帯無線局免許取得

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(NTT-BP)は、平成16年2月23日付で総務省より26GHz帯の無線局免許を取得したと発表した。

26GHz帯高速無線システムを用いることにより、光ファイバケーブルの敷設が困難な場所にも経済的かつ短期間にアクセスポイントを設置することが可能となるため、今回の無線局免許取得を機に「無線LAN倶楽部」のサービスエリア展開をさらに強化拡大していく予定としている。

具体的には、大学や企業など広大な敷地内に分散する拠点間をワイヤレス接続するインターネット化、自動車レースやゴルフ中継などのイベント会場、工事現場等における臨時・短期間のブロードバンドサービス需要への対応を想定している。

あわせて、当社では無線 LAN 倶楽部のサービスエリアやコンテンツの拡充などを発表した。

(2/25)

米 Napster、ダウンロード販売曲数が 500 万を突破

米 Napster は、同社のデジタル音楽配信サービスのダウンロード販売曲数が 500 万曲を超えたと発表した。

これは PC、すなわち Windows 環境にのみ提供されている音楽配信サービスでは世界初だとしている。

また、2003 年 10 月に有料音楽配信サービス「Napster 2.0」を開始して以来、「ベシック」および「プレミアム」を合わせた会員数が 150 万人を突破した。

なお、Napster では、最初の 1 年間の売上高が 2000 万ドル以上にのぼると見込んでいる。

(2/24)

アイワ、ヘッドホン型 USB メモリープレーヤー『AZ-FS256』発売中止

ソニーは、アイワブランドで、2004 年 1 月 14 日に発表した商品群の内、ポータブル USB メモリープレーヤー『AZ-FS256』(ソニースタイルモデル『AZ-FS1』)に関し、発売を中止すると発表した。

理由として、AZ-FS256 用小型・高感度 FM チューナーの開発を挙げ、当初予定していた以上に日程を要し、結果、商品化が大幅に遅れることが判明したためとしている。

(2/20)

NEC、「ワイヤレス USB」規格の推進を発表

NEC エレクトロニクスは、パソコンとその周辺機器、デジタル家電製品等を無線で容易に接続でき 480Mbps の転送速度を実現するインターフェース規格「ワイヤレス USB (Universal Serial Bus)」に準拠した技術の開発を開始し、2005 年 6 月末までに、ホスト(親機)向けとデバイス(子機)向けの両方のシステム LSI を製品化すると発表した。

ワイヤレス USB は、米アギア・システム、米インテル、韓国サムソン電子、米ヒューレット・パカード、蘭フィリップス・セミコンダクター、米マイクロソフト、NEC の 7 社で結成された「Wireless USB Promoter Group」が発表した USB の新規格。

現行の USB2.0 の拡張規格として、480Mbps の高速無線通信が、直径 10 メートルの広範囲で実現できるとしている。

NEC エレクトロニクスでは、低消費電力で高速な無線通信を実現するウルトラ・ワイド・バンド(UWB)物理層チップに関して高い技術を有している米 Staccato Communications、およびイスラエルの Wisair と開発協力を行う。

なお、今回の技術を用いた新製品に関して、2007 年には、年間約 1,400 万個の出荷、約 100 億円の売上を見込んでいるとしている。

(2/19)

Apple、iPod mini の予約が 10 万台と発表

米 Apple は、2004 年 2 月 20 日に発売予定の HDD オーディオプレーヤー「iPod mini」の予約台数が 10 万台を突破したと発表した。

iPod mini は、4GB HDD を搭載した HDD オーディオプレーヤー。米国では 249 ドルで 20 日より発売される予定。

耐食性のある陽極酸化処理済みアルミニウムボディを採用し、シルバー、ゴールド、ピンク、ブルー、グリーンの 5 色をラインナップする。

日本を含む全世界での発売は 2004 年 4 月の予定。

(2/18)

1 月末で DSL 加入者数は 1,060 万

総務省から 2004 年 1 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 10,612,671 で、これは前月末の 3.3% 増。増加率は前月から 0.3% のマイナス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 3,871,895。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 6,740,776。NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 36.5% と前月から 0.2% のマイナス。

(2/13)

NTT、切手大で 1GB を越えるメモリ媒体を開発

日本電信電話 (NTT) は、プラスチック樹脂媒体に大容量のデータ記憶を可能とする積層導波路構造をもった薄膜ホログラムメモリ方式の研究開発の成果として、100 層で 1GB の記憶が可能な切手サイズの媒体「インフォ・マイカ」、および手のひらに載る小型データ読み出しドライブの試作に成功したと発表した。

インフォ・マイカ (Info-MICA : Information-Multilayered Imprinted CArd) は、「薄膜ホログラム原理」と「積層導波路構造」を用いたプラスチックメモリ。

インフォ・マイカの特徴は、以下の 5 つが挙げられている。

1. 媒体が極めて高い記憶密度を持つ
2. ドライブが小型低消費電力
3. 低コストでの媒体大量生産が可能
4. 媒体偽造が極めて困難
5. 媒体のリサイクルが可能

今回試作した試験用媒体サイズは、25mm(W) × 25mm(D) × 2mm(T)。同様にデータ読み出しドライブは、88mm(W) × 37mm(D) × 22mm(H)の手のひらサイズ。

インフォ・マイカは「薄膜ホログラム原理」に基づいているため、読み出しドライブの光

源として汎用半導体レーザがホログラムメモリとしてはじめて利用できるようになり、小型で安価な読み出しドライブの構成を可能とした。

また、媒体も安価な汎用プラスチック材料がはじめて利用できるようになり、CD や DVD と同様に原版転写プロセスによる媒体の低コストでの高速大量生産を可能としている。

NTTでは、メーカー各社と協力の上、2005年中に切身サイズで記憶容量 1GB の読み出し専用メモリ (ROM: Read Only Memory) として、インフォ・マイカの製品化を目指すとしている。量産時のコストは、ドライブが数千円、媒体が 100 円~200 円と想定している。

なお、インフォ・マイカ普及活動の一環として、すでに国際レコード産業連盟 (IFPI: International Federation of Phonographic Industry) 主催の技術サミットや日本レコード協会 (RIAJ: Record Industry Association of Japan) 主催の Techno-Legal Forum などを通じて、5 大レーベルを始め日米のレコード会社のメンバーに説明し、音楽メディアに用いた場合の意見交換を行ったことを公表している。

また、将来は映画の記憶も可能な 10GB 以上の読み出し専用メモリの商品化も目指すとされており、顕微鏡を用いた光学定盤上での媒体検査では SD メモリーカード大で 25GB に相当する記録密度を達成していることも明らかにしている。

(2/12)

有線ブロード、契約数が 20 万件を超える

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2004 年 1 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が 208,910 件、回線が開通している取り付け数が 126,949 件となった。

前月 2003 年 12 月末時点のものとは比べ

と、契約者数で約 11,000 件、取り付け数で約 7,000 件となる増加となっている。

なお、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 4.27、集合住宅取付棟数は 27,705 となっている。

(2/10)

USB ポートを利用するメモリーカード規格「FISH」発表

米 Universal Transportable Memory Association (UTMA) は、USB ポートに直結して使う小型メモリーカード規格「FISH (Flash Internal Semiconductor Hard drive)」の概要を発表した。

「FISH」は、本体のほぼ半分を USB のコネクタが占め、残りの部分にフラッシュ EEPROM や USB のコントローラ LSI などを納める。長辺の長さが約 3.3cm の「Standard FISH」のほか、約 2.5cm と短い「Baby FISH」と呼ばれる小型仕様も定義している。

インターフェースは USB2.0 を採用し、データ転送速度は数十 Mbps が期待されるとしている。

容量は 2GB のものが製品化される見込みで、2005 年末までには同じサイズで 16GB まで拡張されるとしている。

USB ポートに直結するため、専用スロットが不要であることをメリットに PC ベンダーからコンシューマー機器ベンダーまで普及を見込む。

(2/6)

MMCA が MultiMediaCard の新仕様 4.0 を公開

小型メモリーカード「MultiMediaCard (MMC)」の標準化団体 MultiMediaCard Association (MMCA) は、同仕様の最新版「MultiMediaCard 4.0」を発表した。

「MultiMediaCard 4.0」の特徴は次の通り。

- ・バス幅の拡大
バス幅を拡張 (×1 ビット、×4 ビット、

×8 ビット) したことにより、柔軟なホスト設計が可能になり、決まったクロック速度におけるデータ転送幅が拡張できる。そのため、携帯電話機やデジカメ上でよりデータ量が多いコンテンツに対応できる。

- ・クロック周波数の向上

最高クロック周波数を 20MHz から 26MHz および 52MHz に高速化。データ転送速度が高速化されることで、携帯電話機のアーキテクチャ要件との互換性も改善される。クロック周波数 52MHz で ×8 ビット・モードの場合、最高データ転送速度は 52Mbyte/秒に達する。

- ・デュアル・ボルテージ対応

小型メモリーカードとして初めて 3.3V と 1.8V の両電圧における動作に対応。1.8V への対応は、低電圧、低消費電力で動作する新世代の携帯電話および小型モバイル・デバイス向けに重要な機能となっている。

「MultiMediaCard 4.0」は下位互換性も維持しており、MMCA に参加するフィンランドの Nokia、米 Hewlett Packard、ルネサステクノロジ、韓国の Samsung Electronics、独 Infineon Technologies Flash、米 Micron Technology、米 SanDisk などが協調して策定した。

(2/3)

クリエイティブ、「NOMAD Jukebox Zen Xtra」に 30GB モデルを追加

クリエイティブメディアは、大型の液晶ディスプレイを搭載した HDD オーディオプレーヤー「NOMAD Jukebox Zen Xtra 30GB (CNJBZE30U)」を 2004 年 2 月上旬より発売すると発表した。

2003 年 10 月に発売された「NOMAD Jukebox Zen Xtra 60GB」の下位モデルに当たり、HDD 容量以外の仕様は同じ。日本語表示に対応し、ブルー EL バックライトを採用、160 × 104 ドットの液晶ディスプレイを搭載する。

MP3 (VBR 対応)、WMA、WAV の再生に対応。著作権保護 (DRM) 付き WMA ファイル

の転送と再生にも対応する。

インターフェースは USB2.0/1.1。交換可能なりチウムイオンバッテリーを内蔵し、最大 14 時間の連続再生が可能となっている。

外形寸法は約 76 × 22 × 113mm(幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 226g(電池含む)。外装は、アノード処理を施したアルミ合金を採用している。

キャリングポーチ、ネオジウムマグネット採用ステレオヘッドホンなどが同梱される。価格はオープンブライズ。

(2/2)

総務省、12 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2003 年 12 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 247.5 万人、DSL が 10,272,052 人、FTTH が 894,259 人。

一方、ダイヤルアップ型の加入者数は約 1,918.6 万人。

(1/30)

米 Napster、ポータブルプレーヤーへの転送機能を追加

米 Napster は、主要なポータブルオーディオプレーヤーに Napster で購入した楽曲を簡単に転送・再生できるようサービスをアップデートしたと発表した。

Napster はサービス開始時に、Samsung とポータブルオーディオプレーヤー「YP-910」を共同開発し、Napster のサービスと統合していたが、今回新たに合計 60 種類のポータブルオーディオプレーヤーに対応した。

対応プレーヤーは以下の通り。

- ・ Creative NOMAD Jukebox 2
- ・ Creative NOMAD Jukebox 3

- ・ Creative NOMAD Jukebox Zen
- ・ Creative NOMAD Jukebox Zen NX
- ・ Creative NOMAD Jukebox Zen Xtra
- ・ Creative NOMAD Jukebox Zen 2.0 USB
- ・ Dell Digital Jukebox
- ・ Rio Cali
- ・ Rio Chiba
- ・ Rio Fuse
- ・ Rio Nitrus
- ・ Rio S10
- ・ Rio S30
- ・ Rio S35
- ・ Rio S50
- ・ Samsung-Napster YP-910GS

サービスがアップデートしたことに伴い、プレミアム会員に対して 1 曲約 80 セントからの新たな割引サービスも提供される。例えば、プレミアム会員は 15 曲をまとめて購入すると 13 ドル 95 セント、25 曲で 21 ドル 95 セント、50 曲で 39 ドル 95 セントとなる。

(1/29)

松下、次世代乾電池「オキシライド乾電池」を発表

松下電器産業は、電池業界で 40 年ぶりに、アルカリ乾電池よりパワフルで長もちを実現した「オキシライド乾電池」を 2004 年 4 月 1 日から発売すると発表した。

「オキシライド乾電池」は、正極材料に新たにオキシ水酸化ニッケルと新技術により開発された新二酸化マンガン、新黒鉛を採用。

電池内部への注入量を増量、配合をコントロールすることにより、維持電圧を高くし取り出せる電流を多くした。また、圧力の変化を利用した高注液システムにより、電解液を増量する事が可能となっている。

これらにより、アルカリ乾電池比で約 1.5 倍の性能アップを実現、よりパワフルでより長もちを実現した。

公称電圧は 1.5V。本体サイズは 14.5 × 50.5mm(直径 × 高さ)、1 本あたりの重量は約 23g で、従来の単 3 形電池とは完全互換を保っている。

ZR6Y/2VB(2 本入り)が希望小売価格 360

円(税別)。他に 4 本入り、8 本入り、12 本入り、20 本入りのパッケージがあり、いずれもオープンブライズとなっている。

(1/28)

米サンディスク、1GB の SD カードの出荷を開始

米サンディスクは、1GB タイプの SD カードを出荷開始したと発表した。

シャープの積層パッケージング技術「3 次元 SIP」を用いることで、これまでより 2 倍の容量を持つ SD カードを開発できたとしている。

価格は 499.99 ドル。

(1/28)

EMD Magazine 第 35 号

発行 2004 年 6 月 13 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース